

達第七十三號

艦營需品制式圖中左ノ通改正ス

但シ別圖ハ軍需局長ヲシテ之ヲ要スル向ニ配付セシム

昭和三年六月一日

海軍大臣 岡田 啓介

運用長主管船匠之部

「硝子水瓶 小」「硝子水呑」及「机 巳」ノ制式圖ヲ別圖ノ通改正ス

「衣服函 大小」ノ制式圖記入寸法中ニ「側板及蓋板ノ厚サ 大十七糎 小十五糎」及「底板ノ厚サ 大十五糎 小十三糎」

ヲ加フ

達第七十四號

艦營需品經理規程中左ノ通改正ス

昭和三年六月一日

海軍大臣 岡田 啓介

別表第三號其一豫算外供給需品名表中主計長主管ノ部ニ左ノ通追加ス

新聞雜誌

フアイチヤングシツプス  
ネーバルアニアル  
エアクラフト

達

百六十一

0158

達第七十五號

艦營需品試驗規格中左ノ通改正ス

昭和三年六月一日

海軍大臣 岡田 啓介

運用長主管船匠之部

足場板ノ規格第一號中「制式圖」ヲ「見本品」ニ改ム

製圖板ノ規格第一號中「制式圖及」ヲ削除ス

錐先ノ規格第三號中「チーク」ヲ「櫂」ニ改ム

獸毛（蒲團及枕用）ノ規格第二號中「豚毛及牛毛等」ヲ「馬毛又ハ馬毛、牛毛及豚毛等」ニ改メ左

ノ通第四號ヲ加フ

四、官廳ノ消毒證明ヲ得タルモノ

椅子甲、丁ノ規格第二號中「小豆色」ノ次ニ「又ハ飴色」ヲ加フ

厚布蛇管ノ規格第四號中「織目中」ノ次ニ「縦」ヲ加ヘ左ノ通第六號ヲ加フ

六、折目「ロトラ」ヲ掛ケザルモノ

瀝青ノ規格第三號中「溝口二分深サ三分」ヲ「溝口六耗深サ九耗」ニ改ム

膠ノ規格ヲ削除ス

0159

海軍諸例  
則登載

達第七十六號

海軍工務規則中左ノ通改正ス

昭和三年六月九日

海軍大臣 岡田 啓介

第二十八條第三項ヲ左ノ如ク改ム

第一項第七號、第十號又ハ第十一號ノ事由ニ依リ職工ヲ解僱セントスルトキハ少クトモ十四日前ニ其ノ旨本人ニ豫告スルカ又ハ賃錢十四日分ノ手當ヲ支給スルヲ要ス

第三十條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ少クトモ十四日前ニ於テ其ノ旨本人ニ豫告スルカ又ハ賃錢十四日分ノ手當ヲ支給スルヲ要ス

達

百六十三

0160

海軍諸例  
則登載

昭和三年  
五月二十  
七日  
公布  
終止

廢止

達第七十七號

海軍用語（航空術ノ部）別冊ノ通改ム

消

大正十一年達第百号

別冊ハ海軍文庫ヲシテ之ヲ要スル向ニ配付セシム

昭和三年六月十一日

海軍大臣 岡田 啓介

達

百六十五

0161

達第七十八號

昭和二年度、三年度艦艇製造費ヲ以テ建造ニ著手ノ捕獲網艇二隻ニ左ノ通命名ス  
昭和三年六月十三日

海軍大臣 岡田 啓介

年 度 別

建

造

所

艇

名

昭和二年度

横濱船渠株式会社

燕ツグ

同 三年度

株式会社大阪鐵工所

鷗ウ

達第七十九號

海軍會計規程中左ノ通改正ス

昭和三年六月十三日

海軍大臣 岡田 啓介

達

百六十七

0162

海軍會計規程別表第四(乙) 支出官、同代理官並各應經費取扱區分表中舞鶴要港部經理部長ノ部經理部ノ項ノ次ニ「港務部 軍港要港費」ヲ加フ

正 誤 スズ

本年達第三十四號中「三 飛行船學生」ハ「三 飛行船練習生」ノ誤

0163

達第八十號

驅逐艦及掃海艇中左ノ通改名ス

本達ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年六月二十日

海軍大臣 岡田 啓介

第一號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	神	風	トス
第三號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	朝	風	トス
第五號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	春	風	トス
第七號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	松	風	トス
第九號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	旗	風	トス
第十一號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	追	風	トス
第十三號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	疾	風	トス
第十五號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	朝	風	トス
第十七號	驅逐艦	ヲ	驅逐艦	夕	風	トス

達

百六十九

0164

第三十六號	第三十五號	第三十四號	第三十三號	第三十二號	第三十一號	第三十號	第二十九號	第二十八號	第二十七號	第二十五號	第二十三號	第二十一號	第十九號
驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
白露	吹雪	夕霧	望月	三日	菊月	長月	文月	水無	卯	彌生	如月	睦月	
雪	雪	月	月	月	月	月	月	月	月	月	生	月	月
トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス

0165



達

第三十七號	第三十八號	第三十九號	第四十號	第四十一號	第四十二號	第四十三號	第四十四號	第四十五號	第二號	第四號	第六號	第八號	第十號
驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
初	深	叢	東	薄	白	磯	浦	綾	若	吳	早	早	朝
雪	雪	雲	雲	雲	雲	波	波	波	竹	竹	苗	炭	顔
トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス

百七十一

0166

達

掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	第十八號	第十六號	第十二號
菊月	長月	水無月	綾波	浦波	磯波	磯波	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
第十二號	第十一號	第十號	第九號	第八號	第七號	第七號	驅逐艦	驅逐艦	驅逐艦
掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	掃海艇	刈薺	芙蓉	夕顔
トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス	トス

百七十二

0167

海軍諸例  
剛登載

達第八十一號

飛行機飛行教範草案中左ノ通改正ス

昭和三年六月二十一日

海軍大臣 岡田 啓介

第九發動機點檢ノ部中(四)冷却装置ノ項「水ノ充否」ノ下ニ「作動ノ良否」ヲ加フ

第二十中「爆發」ヲ削ル

第三十中「爆音」ノ下ニ「震動」ヲ加フ

第四十一及第百十八中「前方及側方ニ注意シ適當ナル目標ヲ」ヲ「四周ニ注意シ適當ナル離昇目標ヲ」ニ改ム

第五十中「機軸ヲ地平線上ニ」ヲ「機軸ヲ水平ニ」ニ改ム

第六十七中「應用セラルル」ヲ「絶対必要ナル」ニ改ム

第八十六中「發動機ノ回轉ヲ舊ニ復シ」ノ下ニ「ツツ」ヲ加フ

第百一及第百三十一中「操縱桿ヲ僅カニ前方ニ押シ要スレバ發動機ヲ」ヲ「發動機及操縱桿ヲ適宜ニ改ム

達

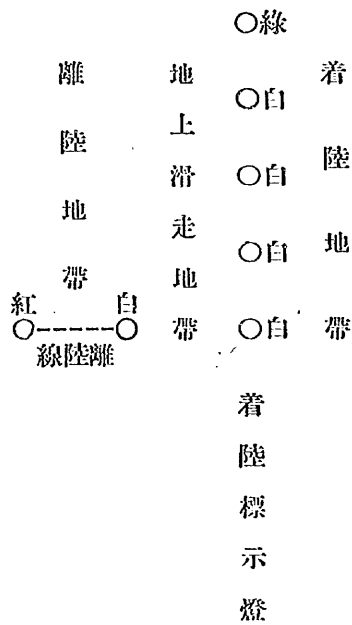
百七十三

0168

第四百中「滑空角ヲ増スモ地上ニ於ケル滑走距離増加シ其ノ効果尠キヲ以テ」ヲ削ル  
 第三百四中「滑空角ヲ増スモ滑走距離ヲ増加シ其ノ効果尠ナキノミナラス時ニ跳躍スルノ恐アルヲ以テ」ヲ削ル

第六十六中「(複隊ノ降着ハ解隊ノ上編隊毎ニ逐時ニ一齊降着スルヲ便トス)」ヲ「(複隊ノ降着ハ解隊ノ上編隊毎ニ逐次ユ一齊降着スルヲ便トス)」ニ改ム

第七十八 離着陸地區ヲ表示スル爲左圖ノ如ク燈火ヲ設置スルヲ例トス



達

格納庫

○紅  
○紅  
○紅

安全地帯

(飛行場境界ニハ適宜紅燈ヲ設置スルモノトス)

着陸標示燈ハ離着陸方向ニ一致セシメ約百米間隔ニ四個乃至五個ヲ設置シ其ノ風上端ヲ綠燈其ノ他ヲ白燈トス

風下端着陸標示燈ノ内側(離陸地帯側)約五十米ニ白燈一個ヲ更ニ其ノ内側適宜ノ距離ニ紅燈一個ヲ設置ス

離陸線内端紅燈ト格納庫トノ間ニ適宜紅燈ヲ設ク

地域之ヲ許サザルトキハ地上滑走地帯ヲ省クカ若ハ離陸着陸兩地帯ヲ合併スル等適宜ノ處置ヲナスヲ要ス

第二百九十三中「百五十米以上ニ於テ水平飛行ニ」ヲ「百米以上ニ於テ水平飛行ニ」ニ改ム

百七十五

0170

正 誤

昭和二年達第四百十七號艦營需品定額表中運用長主管船匠之部消耗品第五類鉛地數稱「個」ハ「証」  
ノ、主計長主管消耗品第二類資金前渡諸用紙數稱「部」ハ「枚」ノ誤



四二二

達第八十二號

職工臨時給與規則中左ノ通改正ス

昭和三年六月二十三日

海軍大臣 岡田 啓介

第四條ノ二 本規則實施中ハ支度料ヲ支給セス但シ特ニ海軍大臣ノ決裁又ハ認許ヲ經タルモノハ此ノ限ニ在ラス

正誤スル

本年達第八十號中「サツキ皐月」ハ「サツキ皐月」ノ、「フミツキ文月」ハ「フミツキ文月」ノ誤

達

百七十七

0172

達第八十三號

航空加俸支給規則中左ノ通改正ス

昭和三年六月二十四日

海軍大臣 岡田 啓介

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ海軍工務規則ニ依ル特種事業加給ノ支給ヲ受クベキ職工ニ對シテハ之ヲ適用セズ

第一表中丙ノ欄ヲ削リ第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

- 一 練習部ヲ置ク航空隊ニ於テ第一搭乗配置ニ在ル教官又ハ教員飛行機ノ操縦教導ヲ擔任スルトキハ其ノ同乗教育期間ニ於テ受クベキ月額加俸ノ五割ヲ増給スルコトヲ得
- 二 練習部ヲ置ク航空隊ニ於テ第一搭乗配置ニ在ル教官又ハ教員飛行船ノ操縦、飛行機又ハ飛行船ノ偵察其ノ他機上作業ノ教導ヲ擔任スルトキハ其ノ同乗教育期間ニ於テ受クベキ月額加俸ノ三割ヲ増給スルコトヲ得
- 三 月額ノ加俸ヲ受クル者新式若ハ新設計ノ航空機ニ搭乗シ又ハ特ニ危険ト認ムル航空試験ニ從事スルトキハ其ノ一日ニ付日額甲ノ加俸ヲ増給スルコトヲ得

達

百七十九

0173



第二表ヲ左ノ如ク改ム 第二表 航空加俸支給區分	
區別	事項
第一表月額甲 ヲ給スベキ者	一 航空隊ニ於テ第一搭乗配置ニ在ル者 二 航空母艦、航空機搭載中ノ艦船ニ於テ前號ニ準ズル者 三 航空隊ノ學生練習生ニシテ航空機搭乗ヲ修得スル者 四 検査官、同附ニシテ航空機試験操縦ノ配置ニ在ル者
第一表月額乙 ヲ給スベキ者	一 航空隊ニ於テ第二搭乗配置ニ在ル者 二 航空母艦、航空機搭載中ノ艦船ニ於テ前號ニ準ズル者但シ搭載常用飛行機二基以内ノ艦船ノ艦長及副長ヲ除ク 三 航空戦隊參謀一人(航空主務) 四 検査官、同附ニシテ検査試験ヲ爲隨時航空機搭乗ノ配置ニ在ル者

0174

達

備考	第一表日額乙 ヲ給スベキ者	第一表日額甲 ヲ給スベキ者
<p>一 同一人ニシテ本表各項ニ該當スル者ニハ特別ノ規定アル場合ノ外多額ニ付之ヲ給ス</p> <p>二 本表ニ於テ航空隊ニ於クル第二搭乗配置トハ左ノ職務又ハ配置ニ在ル者ヲ謂フ</p> <p>(一) 司令、副長、機關長(整備主任者)、教頭、飛行隊附、飛行船隊附、氣球隊附、機體整備分隊長、同分隊士、發動機整備分隊長、同分隊士</p>	<p>前各項ニ該當セザル者ニシテ検査、試験、研究、講習其ノ他勤務上ノ必要ニ依リ臨時ニ航空機ニ搭乗ヲ命セラレタル者</p>	<p>一 新式若ハ新設計ノ航空機ニ搭乗シ又ハ特ニ危険ト認ムル航空試験ニ從事スル者</p> <p>二 豫備役、後備役ノ軍人及海軍豫備員ニシテ演習召集中航空勤務ニ服シ航空機ニ搭乗スル者</p>

0175

百八十一

附 則

本達ハ昭和三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

(會計法規類集中卷二一八頁參照)

(二)

特務分隊長、同分隊士ニシテ海軍航空隊練習部飛行學生及偵察學生教程ヲ修了セル者又ハ特ニ命ゼラレテ機上作業ノ教導ヲ擔任スル者

(三)

特務分隊員ニシテ航空術章ヲ有スル者及高等科掌水雷兵ヲ以テ充ツベキ定員ノ配置ニ在ル者

(四)

飛行分隊員、特務分隊員、機體整備分隊員、發動機整備分隊員及飛行船分隊員ニシテ高等科掌航空工兵ヲ以テ充ツベキ定員ノ配置ニ在ル者

(五)

航空隊練習部ニ於ケル第一搭乗配置以外ノ教官教員(兼務教官及練習生分隊ニ屬セザル教員ヲ除ク)

達第八十四號

海軍兵學校規則中左ノ通改正ス

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓介

第八條中「海軍兵學校」ヲ削ル

第九條第二項中「前ト同一」ヲ「前項ト同一」ニ改ム

第十條 修業期間ハ之ヲ四學年ニ分チ第一學年ハ四月ヨリ同年十一月ニ至リ其ノ他ノ各學年ハ十二月ヨリ翌年十一月ニ至ル

第十一條 校長ハ第一、第二及第三學年ノ終ニ於テ修業成績ヲ、第四學年ノ終ニ於テ修業成績及卒業成績ヲ考查決定スベシ

第十二條 校長ハ修業成績優等ニシテ且品行善良ノ者ニ優等章ヲ授與スベシ

第十四條中「又ハ練習艦ノ艦長」ヲ「若ハ練習艦ノ艦長又ハ其ノ實務練習ヲ行フ所轄長」ニ改ム

第十五條 校長ハ優等章ヲ有スル者ニシテ修業成績不良ナルカ又ハ生徒懲戒規則ニ觸ルル等優等章ヲ有セシムルヲ不適當ト認ムルトキハ該優等章ヲ褫奪スベシ

達

百八十三

0177

第十六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

校長ハ修業成績又ハ卒業成績不良ノ者ト雖尙卒業ノ目途アル者ニ對シテハ一學年ヲ延期修業セシムルコトヲ得

附則

本達施行ノ際現ニ海軍兵學校ニ在學スル生徒ノ修業學年ノ區分及成績ノ考查決定ハ別ニ定ムルモノ外從前ノ規定ニ依ル

(諸例則卷一、六五三頁參照)

海軍諸則  
則登載

達第八十五號

海軍機關學校規則左ノ通改正ス **濟** 大正九年達第百十七号

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓介

海軍機關學校規則

第一章 總則

0178

第一條 校長ハ教務規程及執務規程ヲ設ケ海軍大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スベシ

第二條 海軍機關學校ノ紀律ハ軍艦ノ例ニ準ズ

第三條 海軍機關學校職員海軍機關學校令第六條ノ規定ニ依リ校長ノ職務ヲ代理シタルトキハ代理者ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第四條 校長ハ生徒懲戒規則ヲ定メ海軍大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スベシ

第五條 校長ハ監事長ヲシテ學校附下士官兵ヲ統率セシメ又海軍機關學校令第十一條第二項ノ規定ニ依リ指定セラレタル監事ヲシテ分隊長ニ準ジ職務ヲ執行セシムベシ

第六條 校長ハ生徒ニ在リテハ每學年ノ終ニ於テ、選修學生ニ在リテハ終業期ニ於テ各其ノ教育報告ヲ調製シ之ニ意見ヲ附シ海軍大臣ニ提出スベシ

第七條 毎年八月一日ヨリ八月三十一日迄ヲ夏季休業トシ十二月二十一日ヨリ翌年一月九日迄ヲ冬季休業トス但シ校長ハ教務ノ都合ニ依リ海軍大臣ノ認許ヲ經テ此ノ時期ヲ多少伸縮變更スルコトヲ得

第八條 選修學生及生徒ハ校内ニ、學校附下士官兵ハ校内又ハ附屬船艇内ニ起臥セシム

## 第二章 生徒

達

百八十五

0179

第九條 校長ハ生徒採用試験ノ成績ニ基キ海軍大臣ノ指定セル人員ニ入校ヲ命ズベシ但シ入校ヲ命ズルニ先チ更ニ身體検査ヲ行ヒ將來ニ於ケル海軍ノ服務ニ關シ宣誓ヲ爲サシムベシ

校長ハ前項但書ノ規定ニ依リ施行スル身體検査ニ合格セザル者又ハ入校ノ時期ニ後レタル者アルトキハ海軍大臣ノ認可ヲ經テ其ノ入校ヲ止メ前項ト同一ノ手續ニ依リ其ノ補缺人員ヲ採用スベシ但シ已ムヲ得ザル事情ニ依リ入校ノ期ニ後レタル者ニシテ授業ニ支障ナシト認ムル者ハ之ヲ採用スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ入校ヲ了シタルトキハ校長ハ速ニ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第十條 修業期間ハ之ヲ四學年ニ分チ第一學年ハ四月ヨリ同年十一月ニ至リ其ノ他ノ各學年ハ十二月ヨリ翌年十一月ニ至ル

第十一條 校長ハ第一、第二及第三學年ノ終ニ於テ修業成績ヲ、第四學年ノ終ニ於テ修業成績及卒業成績ヲ考查決定スベシ

第十二條 校長ハ修業成績優等ニシテ且品行善良ノ者ニ優等章ヲ授與スベシ

第十三條 校長ハ修業成績表及卒業成績表ニ意見ヲ附シ之ヲ海軍大臣ニ進達スベシ

第十四條 校長ハ卒業成績表ニ意見ヲ附シ之ヲ海軍機關少尉候補生實務練習用トシテ指定セラレタ

0180

ル練習艦隊ノ司令官若ハ練習艦ノ艦長又ハ其ノ實務練習ヲ行フ所轄長ニ移牒スベシ

第十五條 校長ハ優等章ヲ有スル者ニシテ修業成績不良ナルカ又ハ生徒懲戒規則ニ觸ルル等優等章ヲ有セシムルヲ不適當ト認ムルトキハ該優等章ヲ褫奪スベシ

第十六條 校長ハ修業成績又ハ卒業成績不良ノ者ト雖尙卒業ノ目途アル者ニ對シテ一學年ヲ延期修學セシムルコトヲ得

傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ進級又ハ卒業セシムルコト能ハザル者亦前項ニ同ジ

前二項ノ場合ニ於テハ校長ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第十七條 前條ノ延期ハ全學年ヲ通ジ一回ニ止ムルモノトス但シ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ學術品行特ニ優等ナル者ニ限り更ニ一回延期セシムルコトヲ得

第十八條 校長ハ海軍機關學校令第二十三條ノ規定ニ該當スト認ムル者アルトキハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシムベシ

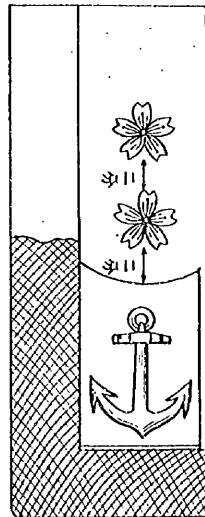
第十九條 第十二條ニ規定スル優等章ハ之ヲ禮衣ノ左右襟ニ附着ス其ノ制式左圖ノ如シ

達

百八十七

0181





(二個ヲ與フルトキ)

優等章、徑五分ノ金「モール」製櫻花一個花蕊ヲ黒色トス

第三章 選修學生

第二十條 選修學生ノ召募ハ海軍大臣之ヲ告達ス

所轄長ハ前項ノ告達ニ從ヒ學術試驗期日以前ニ於テ部下機關兵曹長及進級實役停年ヲ有スル一等  
 機關兵曹中志願スル者ニ就キ海軍機關學校令第二十五條第一號ニ該當シ且年齡三十四年以下ノ者  
 ヲ選拔シ選修學生候補者トシ選修學生選拔表別表第一二通ヲ調製シ所屬長官ヲ經テ之ヲ在籍ノ鎮守府

司令長官ニ提出スベシ

第二十一條 鎮守府司令長官ハ選修學生候補者人名及其ノ所轄ヲ海軍機關學校長ニ通知シ校長ハ學術試驗問題ヲ作製シ密封ノ上各所轄長ニ送付シ所轄長ハ期日ニ試驗ヲ行ヒ其ノ答解書ヲ校長ニ送付シ校長ハ之ヲ調査シ成績表ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ送付スベシ

試驗ハ各地同日ニ行ヒ其ノ期日ハ試驗問題ノ封筒ニ記スモノトス若シ特別ノ事情ニ依リ其ノ期日ニ於テ試驗ヲ行フコト能ハザルトキハ所轄長ハ試驗問題漏洩ノ虞ナキ限リ其ノ期日ニ拘ラズ試験ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所轄長ハ其ノ事情ヲ海軍機關學校長ニ通告スベシ

第二十二條 選修學生候補者ニ課スル試驗左ノ如シ

一 學術試驗 中學第二學年終了程度トシ國語、漢文、作文、算術、代數及英文和譯ヲ課ス

二 口頭試驗 雜問ヲ課スルヲ例トス

第二十三條 鎮守府司令長官ハ海軍機關學校長ノ送付セル學術試驗成績表ニ依リ學術試驗合格者ヲ決定シ更ニ平素ノ考課ヲ考量シテ其ノ中ヨリ前條第二號ノ口頭試驗ヲ課スベキ者ヲ選定シ之ニ對シ必要ニ應ジ部下職員中ヨリ銓衡委員ヲ命ジ口頭試驗ヲ行フベシ

鎮守府司令長官ハ口頭試驗ヲ課スベキ者ヲ選定シタルトキハ其ノ人名ヲ試驗期日其ノ他必要ナル

達

百八十九

0183

事項ト共ニ各其ノ所屬長官ニ通知スベシ

所屬長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ口頭試験ヲ課スベキ者ヲ出頭セシムルモノトス

鎮守府司令長官ハ艦船ノ行動其ノ他已ムヲ得ザル事情アルトキハ口頭試験ノ施行ヲ他ノ長官ニ委託シ又ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條 鎮守府司令長官ハ第二十二條ニ規定スル試験ノ成績ニ基キ候補名簿(別表第二)ヲ作製シ選抜表ト共ニ之ヲ海軍大臣ニ進達スベシ

海軍大臣ハ採用豫定者ヲ鎮守府司令長官ニ指示ス

鎮守府司令長官ハ採用豫定者中一等機關兵曹ニシテ入校迄ニ機關兵曹長ニ進級セザル者アルトキハ直ニ海軍大臣ノ指示ヲ受クベシ

鎮守府司令長官ハ前二項ノ指示ニ基キ採用者ニ選修學生ヲ命ジ其ノ官氏名ヲ海軍機關學校長ニ通報スベシ

所轄長ハ其ノ部下中ニ選修學生ヲ命ゼラレタル者アルトキハ其ノ出發前更ニ身體検査ヲ行ヒタル上期日ニ入校セシムベシ

所轄長ハ前項ノ規定ニ依リ施行スル身體検査ニ合格セザル者アルトキハ其ノ入校ヲ止メ直ニ之ヲ

海軍大臣及在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告スベシ此ノ場合ニ於テハ鎮守府司令長官ハ其ノ選修學生ノ採用ヲ取消シ第二項乃至前項ノ規定ニ準ジ補缺人員ヲ採用スルモノトス

第二十五條 選修學生ノ修業期間ハ約一年トス

第二十六條 校長ハ選修學生ノ終業期ニ於テ教育ノ經過、成績、進歩等ニ關スル事項ヲ考查シ之ガ記録ヲ整理保存スベシ

第二十七條 校長ハ選修學生ノ卒業成績ニ意見ヲ附シ之ヲ海軍大臣ニ提出シ且卒業成績表ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ送付スベシ

第二十八條 學生ニシテ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ同期學生ト共ニ卒業セシムルコト能ハザル者ハ適宜ノ期間共ノ卒業ヲ延期セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ校長ハ其ノ期間ヲ定メ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

#### 附則

本則施行ノ際現ニ海軍機關學校ニ在學スル生徒ノ修業學年ノ區分及成績ノ考查決定ハ別ニ定ムルモ  
ノ外從前ノ規定ニ依ル

達

百九十一

0185

(別表第一)

(美濃紙半葉大用紙適宜)

海軍機關學校選修學生選拔表

現職	官氏名	年齢	現官任命年月日	勤務日數	體格	所轄長及經由上官所見
選拔時ノ職官氏名及年齢(入校ノ年ノ十一月一日ヲ計算期トス)ヲ記註スベシ	海軍出身後受ケタル學校等教育	識量	氣質	准士官ニ進級以後ノ勤務日數(二等機關兵曹ニ在リテハ其ノ實役停年)ヲ記註スベシ	身體檢査ノ結果ニ依リ記註スベシ	本學生候補者ニ選拔シタル理由ヲ記シ職氏名ヲ記シ捺印スベシ
何學校第期何科教程卒業ト記註シ其ノ卒業成績順序ヲ(何人中ノ何番ナル字句ヲ用ヒ)記註スベシ		按群一〇、優等九、佳良八、通常七トシ記註スベシ	海軍考課表規則ニ準ジ記註スベシ		選抜回数	本學生候補者トシテ選抜回次ヲ記註スベシ

0186

達

(諸例則卷一、六六七頁参照)

百九十三

考 備	順 序	階 級	日 數	學 術 試 驗 成 績 百 分 比			口 頭 特 別	官 氏 名
				國 漢 文	作 文	算 術 代 數		
必要ノ事項アラバ適宜記入スベシ								

(別表第二)

海軍機關學校選修學生候補名簿

在籍鎮守府名

0187

達第八十六號

海軍經理學校規則中左ノ通改正ス

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓介

第五條ノ二 校長ハ教頭ヲシテ學校附下士官兵及練習生ヲ統率セシメ又監事ヲ指定シテ教頭ノ命ヲ

承ケ分隊長ニ準ジ職務ヲ執行セシムベシ

第八條中「海軍經理學校」ヲ削ル

第九條第二項中「前ト同一」ヲ「前項ト同一」ニ改ム

第十條 修業期間ハ之ヲ四學年ニ分チ第一學年ハ四月ヨリ同年十一月ニ至リ其ノ他ノ各學年ハ十二月ヨリ翌年十一月ニ至ル

第十一條 校長ハ第一、第二及第三學年ノ終ニ於テ修業成績ヲ、第四學年ノ終ニ於テ修業成績及卒業成績ヲ考查決定スベシ

第十二條 校長ハ修業成績優等ニシテ且品行善良ノ者ニ優等章ヲ授與スベシ

第十三條ノ二中「又ハ練習艦ノ艦長」ヲ「若ハ練習艦ノ艦長又ハ其ノ實務練習ヲ行フ所轄長」ニ改

0188

第十四條 校長ハ優等章ヲ有スル者ニシテ修業成績不良ナルカ又ハ生徒懲戒規則ニ觸ルル等優等章ヲ有セシムルヲ不適當ト認ムルトキハ該優等章ヲ褫奪スベシ

第十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

校長ハ修業成績又ハ卒業成績不良ノ者ト雖尙卒業ノ目途アル者ニ對シテハ一學年ヲ延期修業セシムルコトヲ得

附則

本達施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業學年ノ區分及成績ノ考査決定ハ別ニ定ムルモ  
ノ外從前ノ規定ニ依ル

(附則卷一、七一〇頁參照)

達

百九十五

0189



海軍諸例  
則發載  
改正

達

達第八十七號 昭和十六年達第七十九號  
ニテ本號改正

海軍工機學校規則左ノ通定ム

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓介

海軍工機學校規則

第一條 校長ハ教務規程共ノ他執務ニ關スル細則ヲ設ケ横須賀鎮守府司令長官ノ認可ヲ經テ之ヲ實施スベシ但シ教務規程ニ關シテハ之ヲ認可スルニ先テ海軍大臣ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第二條 海軍工機學校ノ紀律ハ軍艦ノ例ニ準ズ

第三條 海軍工機學校職員海軍工機學校令第六條ノ規定ニ依リ校長ノ職務ヲ代理シタルトキハ代理者ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第四條 校長ハ教頭ヲシテ軍艦ノ例ニ準ジ學校附下士官兵及練習生ヲ統率セシムベシ

第五條 校長ハ機關術及船匠術ノ事ニ關シテハ海軍各部ト連絡ヲ保テ教官以下ヲシテ之ガ研究調査ニ從事セシメ左記事項ニ關シテハ案ヲ具シ直接海軍大臣ニ提出スベシ

一 機關術ニ關スル戰技ノ實施成績ニ關スル所見竝ニ翌年度機關術戰技ノ計畫上必要ト認ムル

百九十六

0190

事項

二 機關術及船匠術ニ關シ研究シ得タル事項中特ニ必要ト認ムルモノ

三 操式教範等又ハ機關術及船匠術教育ノ規畫ニ關シ改正若ハ制定ヲ要スト認ムル事項

四 機關術年報、教育彙報等

第六條 校長ハ機關術及船匠術ノ事ニ關シ艦船部隊其ノ他各部ヨリノ質疑ニ應ズルコトヲ得

第七條 校長ハ學生練習生ノ終業期ニ於テ教官ヲ會同シ教育ノ經過、成績及進歩並ニ學生練習生ニ

關スル事項ヲ考查シ之ガ記録ヲ整理保存スベシ

第八條 校長ハ學生練習生ノ終業期ニ於テ其ノ卒業成績ニ意見ヲ附シ學生ニ在リテハ海軍大臣ニ、

練習生ニ在リテハ横須賀鎮守府司令長官ニ進達スベシ

練習生ノ卒業成績順序ハ何人中ノ何番ナル字句ヲ用ヒ之ヲ本人ノ考課調査表ニ記入スベシ

特務士官准士官學生ノ卒業成績表及練習生ノ學業考課表並ニ卒業成績表ハ各其ノ在籍ノ鎮守府別

ニ依リ之ヲ當該鎮守府司令長官ニ提出又ハ送付スベシ

第九條 校長ハ毎教育年度ニ於ケル教育報告ニ通テ調製シ十二月二十日迄ニ横須賀鎮守府司令長官

ニ提出シ横須賀鎮守府司令長官ハ之ニ意見ヲ附シ一通テ海軍大臣ニ進達スベシ

達

百九十七

0191

第十條 海軍工機學校令第十八條ノ規定ニ依リ特修科學生タランコトヲ志願スル者ハ機關科將校ニ在リテハ海軍大臣ニ、機關科特務士官准士官ニ在リテハ在籍ノ鎮守府司令長官ニ各順序ヲ經テ願書ヲ差出スベシ

第十一條 機關科特務士官准士官ヲ特修科學生ニ採用スベキ員數及時期ハ海軍大臣之ヲ告達ス  
鎮守府司令長官ハ前項ノ告達ニ從ヒ前條ノ出願者中ヨリ選抜シタル者及其ノ鎮守府在籍ノ機關科特務士官准士官ニシテ特ニ機關術ヲ修習セシムルノ必要アリト認メタル者ニ海軍工機學校特修科學生ヲ命ズベシ

第十二條 學生ニシテ傷痰疾病其ノ他ノ事故ニ因リ同期學生ト共ニ卒業セシムルコト能ハザル者ハ適宜ノ期間其ノ卒業ヲ延期セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ校長ハ其ノ期間ヲ定メ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十三條 臨時講習ヲ行ハントスルトキハ講習科目及期限ヲ定メ講習員ノ召集ト共ニ海軍大臣之ヲ告達ス

講習終リタルトキハ校長ハ講習報告ヲ海軍大臣ニ提出スベシ  
第十四條 練習生ハ之ヲ左ノ七種ニ區別ス

- 一 普通科機關術練習生
  - 二 高等科機關術練習生
  - 三 普通科電機術練習生
  - 四 高等科電機術練習生
  - 五 工術練習生
  - 六 特修科工術練習生
  - 七 船匠術練習生
- 第十五條 高等科機關術練習生、普通科機關術練習生、工術練習生ニ在リテハ左ノ區分ニ依リ其ノ一ヲ專修セシム
- 高等科機關術練習生、普通科機關術練習生
- 一 掌 機 術
  - 二 掌 罐 術
- 工術練習生
- 一 鍛冶工術

達

百九十九

0193

- 二 機械工術
- 三 仕上工術
- 四 銅玉術
- 五 鑄造工術
- 六 鍛鍛工術
- 七 兵器工術

第十六條 普通科機關術練習生及普通科電機術練習生ハ海軍一、二等機關兵又ハ進級實役停年ヲ有スル海軍三等機關兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ選抜ス

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 掌機兵又ハ掌電機兵ト爲スニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者

三 海軍特修兵ニ非ザル者

第十七條 高等科機關術練習生及高等科電機術練習生ハ海軍二等機關兵曹ニシテ進級實役停年ヲ有セザル者、海軍三等機關兵曹又ハ任用實役停年ヲ有スル海軍一等機關兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ選抜ス

一 品行方正ナル者  
 二 掌機又ハ掌電機ノ要務ヲ執ラシムルニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者  
 三 普通科機關術練習生又ハ普通科電機術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者  
 第十八條 工術練習生ハ海軍一、二、三等機關兵及入校前新兵教程ヲ終了シ得ル海軍四等機關兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ選拔ス  
 一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者  
 二 掌工兵ト爲スニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者  
 三 機關工業伎倆査定合格標準ニ合格セル者  
 四 海軍特修兵ニ非ザル者  
 第十九條 特修科工術練習生ハ海軍二等機關兵曹ニシテ進級實役停年ヲ有セザル者、海軍三等機關兵曹又ハ任用實役停年ヲ有スル海軍一等機關兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ選拔ス  
 一 品行方正ナル者  
 二 工術ニ關スル要務ヲ執ラシムルニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者

達

二百一

0195

三 工術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

第二十條 船匠術練習生ハ海軍三等船匠兵曹、海軍一等船匠兵又ハ進級實役停年ヲ有スル海軍二等船匠兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ選拔ス

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 船匠術ノ實修ヲ爲スニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者

第二十一條 練習生ニ採用スベキ員數 高等科機關術練習生及普通科機關術練習生ニ在リテハ各專修別ニ 鎮守府毎ニ區分シ毎年二月一日

以前ニ於テ海軍大臣之ヲ告達ス

第二十二條 横須賀鎮守府司令長官ハ前條ノ告達ニ基キ翌會計年度ニ於ケル練習生ノ採用ヲ便宜一

回又ハ數回ニ分チ其ノ出入豫定期日ヲ二月末日迄ニ海軍大臣ニ報告スベシ學生ノ豫定期日亦之ニ

準ズ

第二十三條 普通科機關術練習生、普通科電機術練習生、工術練習生又ハ船匠術練習生ヲ採用スル

ニハ横須賀鎮守府司令長官ハ前條ノ採用員數、入校期日其ノ他必要ノ事項ヲ他鎮守府司令長官ニ

通知スベシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ艦船部隊其ノ他各部 當該鎮守府在籍下士官兵ノ勤務スルモノニ在リテハ其ノ所屬ノ如何ヲ問ハズ以下做之 ノ長ヲ

0196

シテ練習生志願者ニ就キ身體検査ヲ行ヒ又海軍工機學校長ノ送付セル試験問題ニ依リ其ノ指定期  
日ニ於テ學力試験ヲ行ヒ普通科機關術練習生又ハ普通科電機機術練習生ニ在リテハ第十六條、工術  
練習生ニ在リテハ第十八條、船匠術練習生ニ在リテハ第二十條ニ該當スル者ヲ選抜シ選抜表<sup>別表</sup>  
ヲ調製シ報告セシムベシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ報告ニ基キ艦船部隊其ノ他各部毎ニ採用員數ヲ定メ入校期日ト共ニ之ヲ  
通達シ艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ選抜表ノ順序ニ從ヒ採用スベキ者ヲ決定シ所見表<sup>別表</sup>  
添ヘ之ヲ校長ニ通知シ期日内ニ入校セシム艦船部隊其ノ他各部ノ長ハ其ノ出發前ニ於テ更ニ身體  
検査ヲ行ヒ不合格ノ者アルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ補缺採用ノ手續  
ヲ行フモノトス

鎮守府司令長官ハ前項ニ依リ練習生採用員數ヲ定メタルトキハ其ノ候補者ノ總員數及採用員數ヲ  
校長ニ通知スベシ

高等科機關術練習生、高等科電機機術練習生又ハ特修科工術練習生ヲ採用スルニハ横須賀鎮守府司  
令長官ハ前條ノ採用員數、候補者選出期限、入校期日其ノ他必要ナル事項ヲ他鎮守府司令長官ニ  
通知スベシ

達

二百三

0197



鎮守府司令長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ練習生志願者ニ就キ身體検査ヲ行ヒ高等科機關術練習生及高等科電機術練習生ニ在リテハ第十七條、特修科工術練習生ニ在リテハ第十九條ニ該當スル者ヲ選抜シ所見表<sup>別表</sup>第二ヲ附シ選出期限内ニ鎮守府司令長官ニ報告セシメ鎮守府司令長官ハ更ニ選抜ヲ行ヒ右所見表ト共ニ其ノ採用人名及所屬ヲ校長ニ通知シ艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ期限内ニ入校セシム艦船部隊其ノ他各部ノ長ハ其ノ出發前ニ於テ更ニ身體検査ヲ行ヒ不合格ノ者アルトキハ之ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ補缺採用ノ手續ヲ行フモノトス

第二十四條 工術練習生入校シタルトキハ校長ハ所要ニ從ヒ各自ノ所見表ニ鑑ミ專修セシムベキ工術ノ種別ヲ指定シ之ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告又ハ通報スベシ

第二十五條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ校長之ヲ免ジ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スベシ

- 一 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
- 二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

0198

三 勤務怠慢品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四 前諸號ノ外練習生タルニ不適當ト認ムル者

第二十六條 練習生ニシテ前條ノ規定ニ該當スルコトナク同期ノ練習生ト共ニ卒業セシムルコト能ハザル者アルトキハ校長ハ同種ノ次期練習生ニ編入スルカ又ハ次期練習生卒業期迄ノ範圍ニ於テ適宜之ガ修業期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ校長ハ之ヲ其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スベシ

第二十七條 練習生卒業シタルトキハ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ニ復歸セシムベシ但シ在籍ノ鎮守府司令長官ノ請求アルトキハ其ノ指定ノ艦船部隊其ノ他各部ニ轉勤セシムルコトヲ得

第二十八條 前條ノ規定ニ依リ復歸セシムベキ艦船外國又ハ遠隔ノ地ニ在ルカ又ハ所在不定ナルトキハ之ヲ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシムルコトヲ得艦船ノ本籍ニ異動アリタルトキ亦同ジ

前項ノ場合ニ於テハ校長ハ之ヲ前所屬ノ艦船ノ長ニ通知スベシ但シ艦船ノ本籍ニ異動アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 第二十五條、第二十七條及前條ノ規定ニ依リ艦船部隊其ノ他各部ニ復歸若ハ轉勤セシムベキ者又ハ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシムベキ者事故アリテ出發セシムルコト能ハザルトキ

達

二百五

0199

ハ最寄ノ海兵團ニ入團セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ各其ノ所轄長ニ通知スベシ

第三十條 所轄長ハ海軍特修兵令第六條ニ依リ特技章ヲ觀奪シタルトキハ之ヲ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告又ハ通報スルト同時ニ海軍工機學校長ニ通知スベシ

第三十一條 學生、練習生ハ校内ニ起臥セシメ臨時講習科ヲ履修スル者ハ通學又ハ校内ニ起臥セシム但シ學生ハ場合ニ依リ通學セシムルコトヲ得

第三十二條 校長ハ海軍各學校學生練習生ニシテ本校ニ於テ修學スル者アルトキハ其ノ修學ヲ終リタル後成績ヲ各其ノ所屬學校長ニ通報スベシ

第三十三條 毎年八月一日ヨリ八月三十一日迄ヲ夏季休業トシ十二月二十一日ヨリ翌年一月九日迄ヲ冬季休業トス但シ校長ハ教務ノ都合ニ依リ横須賀鎮守府司令長官ノ認可ヲ經テ此ノ時期ヲ多少伸縮變更スルコトヲ得

第三十四條 學生、練習生ノ修業期間ヲ左ノ如ク種別ス但シ時宜ニ依リ多少伸縮セシムルコトアルベシ

- 一 普通科學生 六箇月乃至九箇月
- 二 特修科學生 六箇月乃至一年

0200

- |   |           |           |
|---|-----------|-----------|
| 三 | 專攻科學生     | 六箇月乃至一年   |
| 四 | 普通科機關術練習生 | 六箇月       |
| 五 | 高等科機關術練習生 | 六箇月乃至九箇月  |
| 六 | 普通科電機術練習生 | 六箇月       |
| 七 | 高等科電機術練習生 | 六箇月乃至九箇月  |
| 八 | 工術練習生     | 六箇月       |
| 九 | 特修科工術練習生  | 一年乃至一年六箇月 |
| 十 | 船匠術練習生    | 一年        |
- 第三十五條 戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ海軍大臣ハ練習生ノ教育ヲ中止シ之ヲ退學セシムルコトアルベシ

附 則

従前ノ規定ニ依リ海軍機關學校各種練習生教程卒業ノ者ニシテ其ノ特技章ヲ有スル者ハ之ヲ本則ニ依ル當該練習生教程卒業ノ者ト看做ス

本則施行ノ際現ニ海軍機關學校ニ修業中ノ各種練習生ハ之ヲ本則ニ依ル當該練習生トス

(別表ニ葉添)



選第八十七號(別表第二)

海軍考課表規則ニ準ジ記入スベシ

轉 所		序 順 拔 選	見 所 長 隊 分				賞 罰	善 行 章	体 身		海軍工機學校 科 術練習生候補者所見表 (掌機術)	
見所長轉所		見所長關機	務 勤		行 性	賞 罰	善 行 章	「身体検査ヲ爲シタル 軍醫科士官ノ捺印ヲ 要ス」	視力 右左	聽力 右左	入籍番號 官職氏名 年 齡	「氏名ニハ振假名ヲ附スベシ」
年 月 日	年 月 日	年 月 日	適否	力 學	力 學			現官職 ニ進級 シタル 年月日	練習生卒業 年月日	職色力	入籍番號 官職氏名 年 齡	「氏名ニハ振假名ヲ附スベシ」
海軍大佐	某	「驅逐艦及潜水艦ニ在リテハ驅逐艦長若ハ潜水艦長亦其ノ所見ヲ本欄ニ記入スベシ」 海軍機關中佐	「分隊長(分隊長職務執行者) 海軍機關大尉	「入籍前ニ於ケル學校修業程 度ヲ記入シ又讀書算術試驗 成績ヲ各百分比ニテ記入ス ベシ」	「普通科機關術練習生ニ在リテ ハ掌機掌艦ニ關スル經歷ヲモ 記入シ工術練習生ニ在リテハ 査定工業ノ種類並ニ入籍前ノ 經歷ノミヲ記入スベシ」	年 月 日	年 月 日					

注意「内ノ文字ハ記註例又ハ注意事項ヲ示ス」

0203

海軍諸例  
則登載

達第八十八號

現ニ海軍兵學校第一學年又ハ第二學年ニ在學スル生徒ノ修業年限ヲ八箇月延長ス  
前項生徒ノ修業學年ノ區分ハ昭和三年十一月三十日迄現學年トシ其ノ後ノ區分ハ海軍兵學校規則第  
十條ニ定ムル所ニ依ル  
昭和三年六月二十五日  
海軍大臣 岡田 啓介

海軍諸例  
則登載

達第八十九號

現ニ海軍機關學校第一學年又ハ第二學年ニ在學スル生徒ノ修業年限ヲ八箇月延長ス  
前項生徒ノ修業學年ノ區分ハ昭和三年十一月三十日迄現學年トシ其ノ後ノ區分ハ海軍機關學校規則  
第十條ニ定ムル所ニ依ル  
昭和三年六月二十五日  
海軍大臣 岡田 啓介

海軍諸例  
則登載

達第九十號

現ニ海軍經理學校第一學年又ハ第二學年ニ在學スル生徒ノ修業年限ヲ八箇月延長ス  
前項生徒ノ修業學年ノ區分ハ昭和三年十一月三十日迄現學年トシ其ノ後ノ區分ハ海軍經理學校規則

達

二百九

0204

第十條ニ定ムル所ニ依ル

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓 介

達第九十一號

現ニ海軍兵學校第一學年又ハ第二學年ニ在學スル生徒ノ成績考查決定ニ關シテハ海軍兵學校長規定ヲ設ケ海軍大臣ノ認許ヲ經テ之ヲ實施スベシ

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓 介

達第九十二號

現ニ海軍機關學校第一學年又ハ第二學年ニ在學スル生徒ノ成績考查決定ニ關シテハ海軍機關學校長規定ヲ設ケ海軍大臣ノ認許ヲ經テ之ヲ實施スベシ

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓 介

達第九十三號

現ニ海軍經理學校第一學年又ハ第二學年ニ在學スル生徒ノ成績考查決定ニ關シテハ海軍經理學校長

海軍諸例  
則登載

海軍諸例  
則登載

海軍諸例  
則登載

0205



規定ヲ設ケ海軍大臣ノ認許ヲ經テ之ヲ實施スベシ

昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓介

達第九十四號

大正十四年達第六十八號ハ之ヲ廢止ス



昭和三年六月二十五日

海軍大臣 岡田 啓介

参照 大正十四年達第六十八號ハ海軍機關學校臨時移設ノ件ナリ(諸例則卷一、六八八頁)

達

二百十一

0206

海軍諸例  
則登載

達第九十五號

海軍武官任用進級取扱規則中左ノ通改正ス

昭和三年六月三十日

海軍大臣 岡田 啓介

別表第二號中佐官尉官ノ項ヲ左ノ如ク改ム

佐官尉官	八月十五日	八月十六日	八月二十五日	九月十日
------	-------	-------	--------	------

附則

實役停年計算期日ニ關スル從前ノ規定ニ依レバ進級資格ヲ有スルモ本達ニ依ル改正ノ結果之ヲ失フ者ニ對シテハ當分ノ間從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

(諸例則卷一、一、二三五頁參照)

達

二百十三

0207